

Hitachi Koki

日立コードレス全ねじカッタ

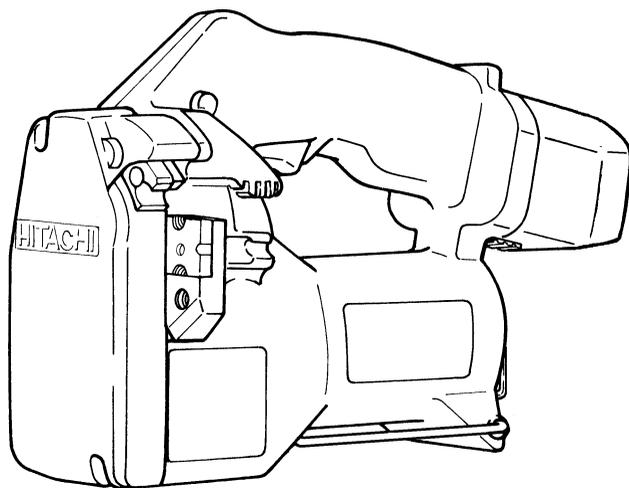
W 3/8 CL 10D2

取扱説明書

このたびは日立コードレス全ねじカッタをお買い上げいただき、
ありがとうございました。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全に
お使いください。

お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご
利用ください。

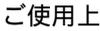


HITACHI

目 次

	ページ
コードレス工具の安全上のご注意	2
コードレス全ねじカッタの使用上のご注意	6
各部の名称	6
仕 様	7
標準付属品	8
別売部品	8
用 途	9
蓄電池の取りはずし方・取付け方	10
充電方法	10
ご使用前に	14
使 い 方	16
カッタの寿命と交換方法	20
保守・点検	22
ご修理のときは	22
全国営業拠点	裏表紙

警告、 注意、 注 の意味について

ご使用上の注意事項は「 警告」と「 注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。また、「 注」の意味も説明します。

 **警告** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

 **注意** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「 注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

 **注** : 製品の据付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

コードレス工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

警 告

① 専用の充電器や蓄電池を使用してください。

- この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池以外は、使用しないでください。
破裂して傷害や損傷を及ぼす恐れがあります。

② 正しく充電してください。

- この充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。
異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- 温度が 0 未満、あるいは温度が 40 以上では、蓄電池を充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- 蓄電池は、換気の良い場所で充電してください。蓄電池や充電器を、充電中布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- 使用しない場合は、さし込みプラグを電源から抜いてください。
感電や火災の恐れがあります。

③ 蓄電池の端子間を短絡させないでください。

- 釘袋などに入れると、短絡して、発煙・発火・破裂などの恐れがあります。

④ 感電に注意してください。

- ぬれた手で、充電器のさし込みプラグに触れないでください。
感電の恐れがあります。

⑤ 作業場の周囲状況も考慮してください。

- 工具本体、充電器、蓄電池は、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。感電や発煙の恐れがあります。
- 作業場は十分に明るくしてください。
暗い場所での作業は、事故の原因になります。
- 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。
爆発や火災の恐れがあり、事故の原因になります。

⑥ 保護メガネを使用してください。

- 作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
切削したものや粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。

警 告

- ⑦ **加工するものをしっかりと固定してください。**
 - 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で工具本体を使用できます。固定が不十分な場合は、加工するものが飛んで、けがの原因になります。
- ⑧ **次の場合は、工具本体のスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。**
 - 使用しない、または、修理する場合。
 - 刃物、ビットなどの付属品を交換する場合。
 - その他、危険が予想される場合。
工具本体が作動して、けがの原因になります。
- ⑨ **不意な始動は避けてください。**
 - スイッチに指を掛けて運ばないでください。
工具本体が作動して、けがの原因になります。
- ⑩ **指定の付属品やアタッチメントを使用してください。**
 - この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものは、使用しないでください。
事故やけがの原因になります。
- ⑪ **蓄電池を火中に投入しないでください。**
破裂したり、有害物質の出る恐れがあります。

注 意

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **子供を近づけないでください。**
 - 作業者以外、工具本体や充電器のコードに触れさせないでください。
けがの原因になります。
 - 作業者以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。
- ③ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
 - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所、または鍵のかかる所に保管してください。事故の原因になります。
 - 工具本体や蓄電池を、温度が 50 以上に上がる可能性のある場所(金属の箱や夏の車内など)に保管しないでください。
蓄電池劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
- ④ **無理して使用しないでください。**
 - 安全に能率よく作業するために、工具本体の能力に合った速さで作業してください。能力以上での使用は、事故の原因になります。
 - モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。
発煙、発火の恐れがあります。

⚠ 注 意

⑤ 作業に合った工具本体を使用してください。

- 小形の工具本体やアタッチメントは、大形の工具本体で行なう作業には使用しないでください。けがの原因になります。
- 指定された用途以外に使用しないでください。けがの原因になります。

⑥ きちんとした服装で作業してください。

- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
すべりやすい手袋や履物は、けがの原因になります。
- 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
回転部に巻き込まれる恐れがあります。

⑦ 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。

- コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- コードを熱、油、角のこがった所に近づけないでください。
- コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように、充電する場所に注意してください。
感電や、ショートして発火する恐れがあります。

⑧ 無理な姿勢で作業をしないでください。

- 常に足をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
転倒して、けがの原因になります。

⑨ コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。

- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
損傷した刃物類を使用すると、けがの原因になります。
- 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。けがの原因になります。
- 充電器のコードは、定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店、または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
感電や、ショートして発火する恐れがあります。
- 継ぎ(延長)コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。感電や、ショートして発火する恐れがあります。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの原因になります。

⑩ 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。

- スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。
付けたままでは、作動時に飛び出して、けがの原因になります。

⑪ 屋外使用に合った継ぎ(延長)コードを使用してください。

- 屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの継ぎ(延長)コードを使用してください。

⚠ 注意

⑫ 油断しないで十分注意して作業を行なってください。

- コードレス工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など、十分注意して慎重に作業してください。
軽率な行動をすると、事故やけがの原因になります。
- 常識を働かせてください。
非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。
- 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの原因になります。

⑬ 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- さし込みプラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。
感電や、ショートして発火する恐れがあります。
- 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店、または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない工具本体は、使用しないでください。異常動作して、けがの原因になります。

⑭ コードレス工具の修理は、専門店で依頼してください。

- サービスマン以外の方は、工具本体・充電器・蓄電池を分解したり、修理・改造は行なわないでください。
発火したり、異常動作して、けがの原因になります。
- 工具本体が熱くなったり、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店、または日立工機電動工具センターにお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。



Ni-MH

ニッケル水素電池は
リサイクルへ



Ni-Cd

ニカド電池は
リサイクルへ

蓄電池はリサイクルへ!

本機に使用の蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。蓄電池や製品の廃棄の際は、リサイクルにご協力いただき、最寄りの日立電動工具販売店、または日立工機電動工具センターにお持ち込みください。

コードレス全ねじカッタの使用上のご注意

先にコードレス工具として共通の注意事項を述べましたが、コードレス全ねじカッタとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 注意

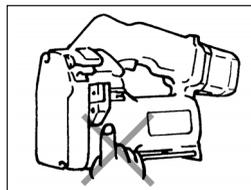
① スイッチを操作する際、カッタに指を近づけないでください。
けがの原因になります。

② カッタの点検、清掃、交換の際は、必ず蓄電池を本体からはずしてください。
誤ってスイッチを入れてしまうと、けがの原因になります。

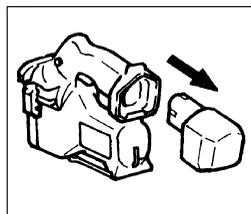
③ 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。
材料や機体などを落としたときなど、事故の原因になります。

④ 本体を持ち運んだり、保管したり、作業を休止している際は、正逆切替えボタンを **ロック** の位置にしておいてください。
ロック の位置にしておかないと、不用意にスイッチが入り、けがの原因になります。

①

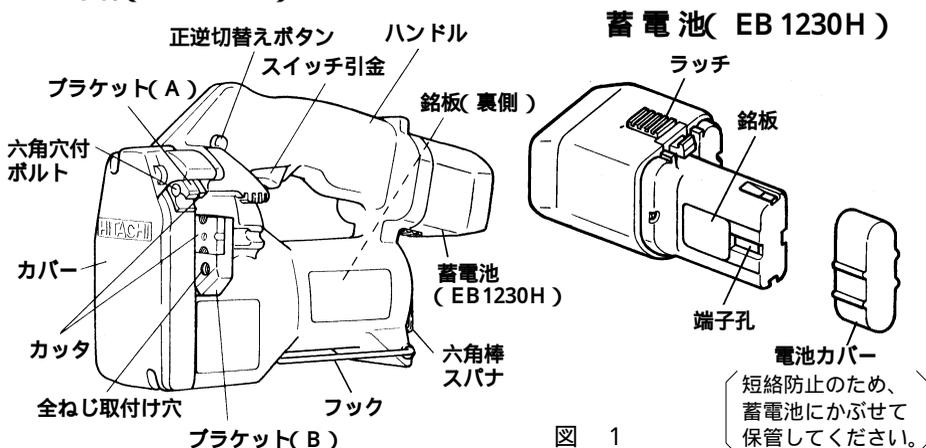


②



各部の名称

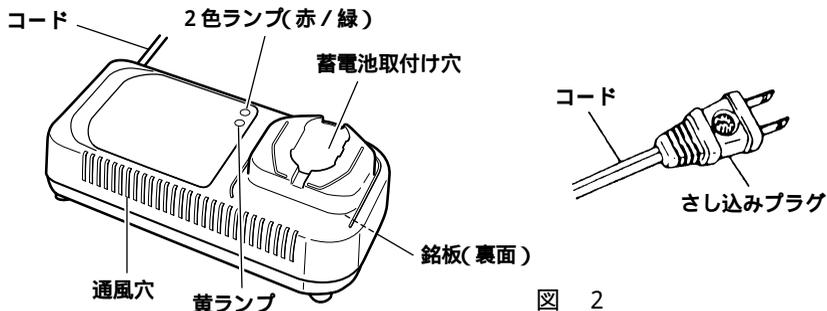
1. 本体(CL 10D2)



蓄電池別売の製品には、蓄電池・電池カバーは付いておりません。

2. 充電器仕様(UC 14YH)

充電器別売の製品には付いておりません。別途お買い求めください。



仕 様

1. 本体仕様(CL 10D2)

切 断 能 力	W 3/8 全ねじ
モ ー タ ー	直流モーター
無負荷ストローク数 (気温20 満充電時)	30 min ⁻¹ { 30回/分 }
蓄 電 池 (EB 1230H)	円筒密閉形ニッケル水素蓄電池 電圧 12 V
質 量	3.0 kg (蓄電池を含む)

蓄電池別売の製品には、蓄電池は付いておりません。
別途お買い求めください。

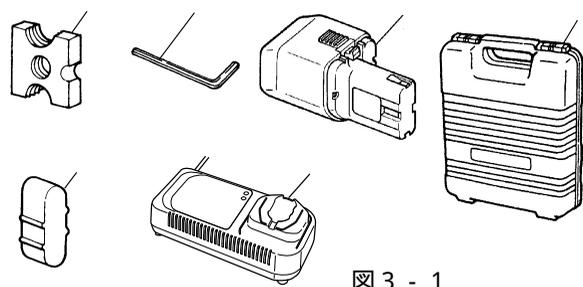
2. 充電器仕様(UC 14YH)

入 力 電 源	単相交流 50 / 60 Hz 共用 電 圧 100 V
充 電 時 間 (気温 20 時)	EB 1230Hの場合...約27分 { 詳しくは13ページ をご参照ください。 }
充 電 電 圧	7.2 - 9.6 - 12 - 14.4 V
充 電 電 流	9 A
コ ー ド	2心ビニールコード
質 量	1.0 kg
使用温度範囲	0 ~ 40

3. 蓄電池仕様(別売部品を含む)

	EB 12S	EB 12B	EB 12M	EB 1230H
容 量	1.2 Ah	2.0 Ah	2.0 Ah	3.0 Ah
残量表示ランプ	なし	なし	付き	なし

標準付属品

<p>CL 10D2 (HCK) 充電器・蓄電池・ ケース付</p>	 <p>図 3 - 1</p> <p>W3/8 カッタ(本体装着)…………… 1 組 六角棒スパナ(本体装着)…………… 1 個 蓄電池(EB 1230 H)(本体装着)…… 1 個 電池カバー…………… 1 個 (取りはずした蓄電池用) 充電器(UC14YH)…………… 1 台 プラスチックケース…………… 1 個</p>
<p>CL 10D2 (NN) 充電器・蓄電池・ ケース別売</p>	 <p>図 3 - 2</p> <p>W3/8 カッタ(本体装着)…………… 1 組 六角棒スパナ(本体装着)…………… 1 個</p>

プラスチックケースは、本体(CL 10D2)・充電器のほかに、予備の蓄電池 1 個と小物(予備のカッタなど)が収納できます。

別売部品 …………… (別売部品は生産を打ち切る場合があります。)

1. 蓄電池

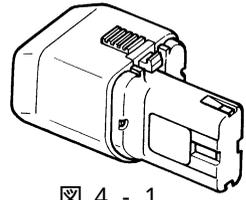


図 4 - 1

予備の蓄電池としてご用意されると便利です。

形名	EB 12S	EB 12B	EB 12M	EB 1230H
コード	306096	310062	310065	318075

2. カッタ

カッタ名	セット内容	カッタ名	セット内容
W3/8 カッタ コードNo.998479		M10 カッタ組 コードNo.308565	M10 スペース (黒色) + 
		M8 カッタ組 コードNo.308564	M8 スペース (黒色) + 
W5/16 カッタ組 コードNo.308566	W5/16 スペース (黒色)  + 	M6 カッタ組 コードNo.308563	M6 スペース (黒色) + 

注) W3/8以外のカッタを本体へ装着するときは、専用のスペース(黒色)を使用します。詳しくは、15・16ページをご参照ください。

3. トリマー



図 4 - 2

- W3/8 ステンレス全ねじおよびW5/16・M6・M8・M10 軟鋼全ねじを切断した後のバリ取り用としてご用意されると便利です。

サイズ	コードNo.	サイズ	コードNo.
M6	308568	W5/16	321153
M8	308569	W3/8	308567
M10	308570		

用 途

- 下記サイズの全ねじの切断

サイズ	材 質	軟 鋼	ステンレス
W3/8(通称3分全ねじ)			
W5/16(通称2分5厘全ねじ)			×
M10			×
M8			×
M6			×

注

- ・ 指定の全ねじ以外の切断には使用しないでください。
黄銅全ねじやW3/8以外のステンレス全ねじに使用すると、ねじ山が変形し、ナットが入りません。
また、焼入れボルト、異なるサイズの全ねじ、鉄筋などを切断すると、本体を破損する場合がありますので、使用しないでください。

蓄電池の取りはずし方・取付け方

警告

- ・万一の事故を防止するため、必ずスイッチが切れていることを確かめてください。

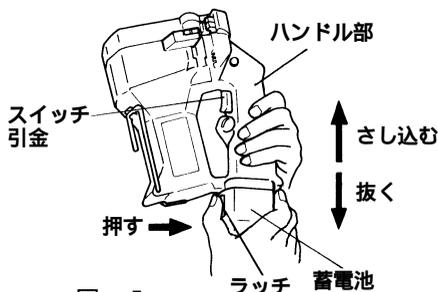


図 5

1. 蓄電池の取りはずし方.....

本体をしっかり支え、蓄電池前部のラッチを押しながら、抜くと取りはずせます。(図5)

2. 蓄電池の取付け方.....

ラッチがハンドル部のスイッチ引金側にくるよう蓄電池の取付け方向に注意し、蓄電池をさし込みます。(図5)

充電方法

警告

- ・充電器は、必ず定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。また、昇圧器などのトランス類も使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。

注意

- ・さし込みプラグを電源にさし込む前に、さし込みプラグやコードに損傷がないことを確認してください。損傷している場合は、お買い求めの販売店、または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。感電やショートして発火する恐れがあります。

1. 充電器のさし込みプラグを電源にさし込む.....

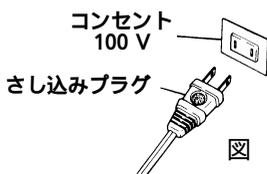


図 6

充電器のさし込みプラグをコンセントにさし込みますと2色ランプ(赤/緑)が赤の点滅を繰り返します。(周期1秒)(図6、7)

- 注**
- ・さし込みプラグをさし込んだとき、コンセントがガタガタだったり、すぐ抜けるようでしたら修理が必要です。お近くの電気工事店などにご相談ください。そのままお使いになると、火災の恐れがあります。
 - ・さし込みプラグをさし込んでランプが点灯しないときは、お買い求めの販売店、または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。

2 . 蓄電池を充電器に取付ける.....

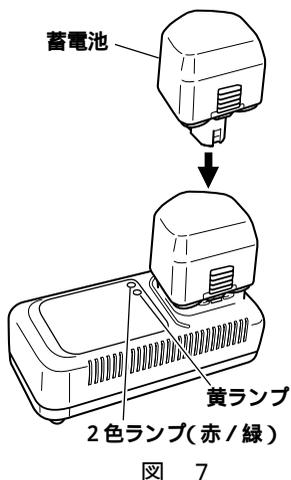


図 7

蓄電池を図7に示す向きで、充電器の底に当たるまでしっかりとさし込みます。逆向きにさし込むと充電しません。

蓄電池を充電器に接続しますと充電を開始し、2色ランプ(赤/緑)が赤に連続点灯します。

- 注**
- 逆向きにさし込むと、充電できないばかりでなくヒューズが切れたり、充電端子が変形して充電器故障の原因になります。必ず蓄電池の向きを確認してからさし込んでください。
 - 蓄電池をさし込んで、2色ランプ(赤/緑)が赤に連続点灯しない場合は、さし込みプラグをコンセントから抜き、蓄電池の取付けが確かかどうか、確かめてください。

3 . 充電する.....

(1) ランプの表示およびブザー音について (表1参照)

- 充電中は2色ランプ(赤/緑)が赤に連続点灯します。充電が完了すると2色ランプ(赤/緑)が緑に連続点灯し、ブザーが「ピー」と約6秒鳴ります。
- 充電器または蓄電池に異常があるときは、黄ランプが速い点滅(周期0.2秒)を繰り返し、ブザーが「ピッピッピッ」と約5秒鳴ります。

表 1 ランプの表示

2色ランプ (赤/緑)	充電前	赤点滅	0.5秒点灯 0.5秒消灯	
	充電中	赤点灯	連続点灯	
	完了 電池 活性化(トリクル充電)中	緑点灯	連続点灯	
	電池活性化 完了	緑点滅	0.5秒点灯 0.5秒消灯	
黄ランプ	高温待機	点滅	0.5秒点灯 0.5秒消灯	蓄電池温度が高くて充電できず
	低温時 充電中	点灯	連続点灯	蓄電池温度が低い ため保護充電している
	充電不可	速い点滅	0.1秒点灯 0.1秒消灯	蓄電池または充電器に異常あり

2色ランプが緑に点灯したら充電が完了していますので、蓄電池を充電器から抜いてください。

新品あるいは長期間使用しなかった蓄電池の場合・・・

電池活性化が必要なので13ページの「6. 電池活性化(トリクル充電)について」を参照してください。

- 注** ・充電中にランプが消灯したときは、修理に出される前にさし込みプラグを電源から抜き、1～2分経ってから再度さし込んでみてください。

(2) 蓄電池の温度について

充電可能な蓄電池の温度は下表に示す温度であり、熱くなった蓄電池は少し冷めてから充電開始します。

表 2 熱くなった蓄電池の充電

蓄電池	充電可能な蓄電池温度	高温蓄電池
E B 12 S E B 12 B E B 12 M	- 5 ~ 60	黄ランプが点滅する。 蓄電池の温度が60 まで下がると黄ランプが消灯し、充電開始する。
E B 1230 H	0 ~ 45	黄色ランプが点滅する。 蓄電池の温度が45 まで下がると黄ランプが消灯し、充電を開始する。

- 注** ・蓄電池を直射日光の当たる所に長時間放置したり、使用した直後など蓄電池が多少熱をもっている場合に、すぐ充電すると充電器の2色ランプ(赤/緑)が赤に連続点灯しないことがあります。
また、2色ランプ(赤/緑)が赤に連続点灯し充電を開始しても充電完了前に黄ランプが速い点滅(周期0.2秒)を繰り返し、ブザーが「ピッピッ」と約5秒鳴ることがあります。
このようなときは、充電できませんので、少し時間をおいて、蓄電池が冷えてから充電してください。
- ・ニッケル水素電池は、使用直後など熱くなったとき(40 を越えているとき)に充電すると満充電にならないことがあります。
 - ・黄ランプが速い点滅(周期0.2秒)を繰り返し、ブザーが「ピッピッ」と約5秒鳴るときは、蓄電池取付け穴に異物が入っていないかどうか確認してください。
異物が入っていたときは取り除いてください。異物が入っていないときは、充電器または蓄電池に異常があると考えられますので、充電器と蓄電池の両方を組にして、お買い求めの販売店にご持参ください。

(3) 充電時間について

それぞれの蓄電池の充電時間は表3のようになります。

表3 充電時間(気温 20)

蓄電池 \ 充電器	UC 14YH
EB 12 S	約 9 分
EB 12 B、EB 12 M	約 14 分
EB 1230 H	約 27 分

下表のようなときは、蓄電池および充電器を保護するため、充電時間が長くなる場合があります。特にニッケル水素電池の充電時間は蓄電池の温度が高いとき(30 を越えるとき)は長くなります。

充電時間が長くなる場合	充電時間			
	EB 12 S	EB12 B	EB12 M	EB 1230H
*新品の蓄電池	約 11 ~ 80 分	約 18 ~ 130 分	約 35 ~ 200 分	
*長期間保管しておいた蓄電池				
気温 0 以下の冷えた蓄電池				
寿命に近い蓄電池				
蓄電池または充電器が高温の場合				

*印は一時的な現象であり、室温で2~3回充放電を繰り返すと蓄電池内部の化学物質が活性化し、正常な充電時間に戻ります。

- 注**
- 充電の途中で一度抜き取った蓄電池を再び充電させるときは、抜き取ってから3秒以上待ってさし込んでください。これは充電器内のマイクロコンピュータが、蓄電池を抜き取ったことの確認に3秒程度の時間が必要なためです。時間が短すぎますと充電しないことがあります。
 - 同じ充電器を連続して使用すると、充電器が発熱し、故障の原因になります。一度充電が完了したら、次の充電まで5分程度休ませてください。

4. 充電器のさし込みプラグを電源から抜く.....

コードを引っ張らず、プラグを持って抜きます。

5. 蓄電池を充電器から抜く.....

充電器を手で支え、蓄電池を充電器より抜き取ります。これで充電完了です。

- 注** • 使用後は充電器から蓄電池を抜いて保管してください。

6. 電池活性化(トリクル充電)について.....

新品あるいは長期間使用しなかった蓄電池は、内部の化学物質が不活性(ねばけ)になっているため、満充電にならないことがあります。このようなときは、充電完了後も約8~12時間、蓄電池を充電器にさし込んだままにしておくると自動的に蓄電池が活性化されます。

電池活性化中(約12時間)は2色ランプが緑色に点灯したままになります。電池活性化が終了すると2色ランプが緑色の点滅になります。

7. 蓄電池を長持ちさせるコツ.....

(1) 蓄電池が空(から)になる前に充電する。

工具の力が弱くなってきたと感じたら、使い続けるのをやめ、充電します。無理に使い続けて、電流をしぼり出すと蓄電池が傷み、寿命を短くします。

(2) 高温時の充電はできるだけ避ける。

工具を使用した直後の蓄電池は熱くなっています。すぐ充電すると蓄電池内部の化学物質が劣化し、寿命を短くします。蓄電池を休ませ、少し冷めてから充電します。

- 注** ・正しい充電をしても、蓄電池の使用時間が著しく低下してきたときは、蓄電池の寿命がすぎたものとお考えいただき、新しい蓄電池をお買い求めください。寿命のすぎた蓄電池をそのまま使用していると、蓄電池だけでなく、充電器故障の原因になります。
なお、使用不能の蓄電池は廃棄せずに、最寄りの日立電動工具販売店にお持ち込みください。

ご使用前に

1. 作業環境の整備・確認.....

作業をする場所が注意事項にかかげられているような適切な状態になっているかどうか確認してください。

2. 蓄電池の取付けの確認.....

注 意

- ・蓄電池は確実に取付けてください。確実にないと、蓄電池が抜け落ちて、けがの原因になります。

3. 正逆切替えボタンのセット.....

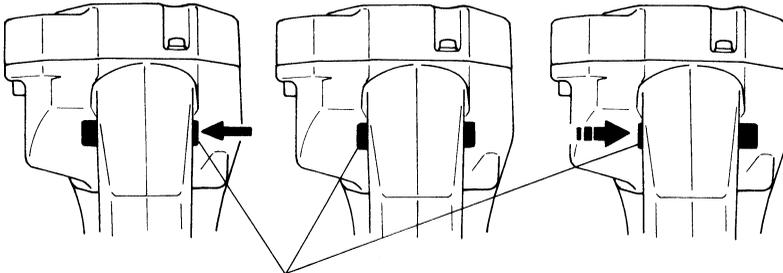
- (1) 次ページの図8-(イ)のように正逆切替えボタンを右から押し込み、**切断**の位置にすると切断可能になります。
- (2) 次ページの図8-(ロ)のように正逆切替えボタンを**ロック**の位置(中央)にしますと、スイッチ引金を引いてもモーターは回転しません。運搬や保管、作業を休止している際は、正逆切替えボタンを**ロック**の位置にしてください。
- (3) 次ページの図8-(ハ)のように正逆切替えボタンを左から押し込み、**開放**の位置にし、そのまま押しながらスイッチ引金を引くと、カッタが全ねじからはずれます。蓄電池が消耗して切断途中で動かなくなったときだけ、この位置にしてください。カッタが全ねじからはずれたら、すぐにスイッチを切ります。
指をはなすと正逆切替えボタンは自動的に**ロック**の位置に戻ります。

注 ・ **開放** の位置で全ねじを切断しようとしてもモーターが過負荷になり、切断できません。また、本体に無理な力が作用し、破損する場合がありますので、**開放** の位置では切断しないでください。

右から押し込む

中央の位置

左から押し込みながら、スイッチ引金を引く。



正逆切替えボタン

〔ハンドル側から見た図〕

切断作業時(**切断**)

回転しない(**ロック**)

切断途中でのはずし **開放**

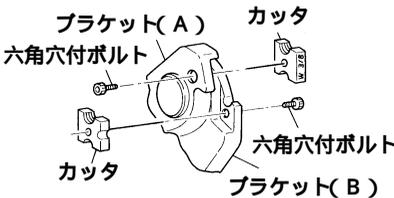
図 8 -(イ)

図 8 -(ロ)

図 8 -(ハ)

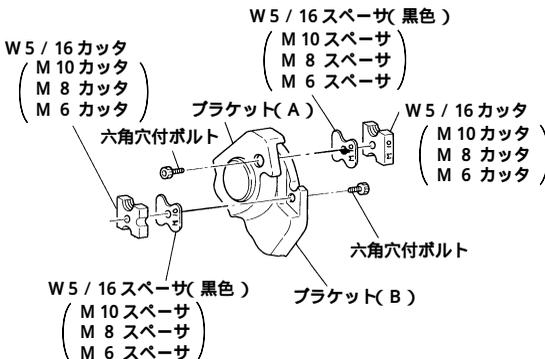
4 . カッタとスペーサの取付け方.....

W3/8カッタの場合



左図のように、カッタをブラケット(A)とブラケット(B)に正しく取付け、六角穴付ボルトを六角棒スパナでしっかりと締付けます。

W5/16、M10、M8、M6カッタ(別売部品)の場合



たとえば、W5/16カッタをご使用の場合、同梱のW5/16専用スペーサ(黒色)をブラケット(A)とカッタの間、ブラケット(B)とカッタの間に正しくはさみ込み、六角穴付ボルトを六角棒スパナでしっかりと締付けます。

- 注** ・W5 / 16 ・ M10 ・ M8 ・ M6 の各カッタとスペーサ(黒色)はサイズごとにセットになっています。
 スペーサ(黒色)を付けずに使用したり、異なるサイズのスペーサ(黒色)やカッタを付けて使用すると、ねじ山が正しくかみ合わず、全ねじやカッタの刃部を破損しますので、必ず正しく取付けてください。

5 . カッタの取付け方向、取付けボルトを確かめる.....

(1) カッタの取付けには方向性があります。図9に示すように、本体の正面から見てカッタ側面の切欠き溝が あり と なし の関係になっていることを確かめてください。

図9の切欠き溝が あり と あり または なし と なし の組み合わせになっていますと、全ねじのねじ山(ピッチ)とカッタのピッチが一致しないため、カッタの刃部が破損したり、本体の早期故障につながりますので注意してください。

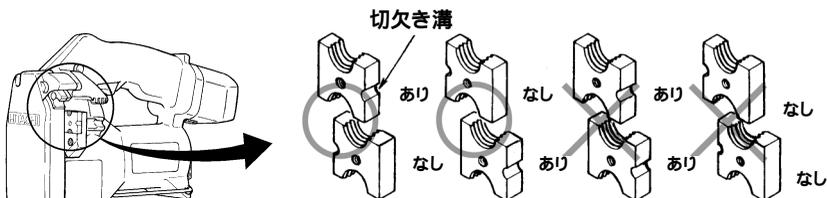


図 9

(2) カッタを取付けている六角穴付ボルト(図1参照)がしっかりと締付けられていることを、付属の六角棒スパナで確かめてください。

ゆるんだ状態でご使用になりますと本体やカッタの破損をまねくことがあります。

使 い 方

⚠ 警 告

- ・スイッチ操作時は、絶対にカッタに指を近づけないでください。
- ・短い全ねじを切断するときなど、本体のガード部(図11参照)と全ねじのスキマ・本体の蓄電池部と全ねじのスキマなど本体と全ねじのスキマに指をはさまないように注意してください。

1 . 通常の切断方法.....

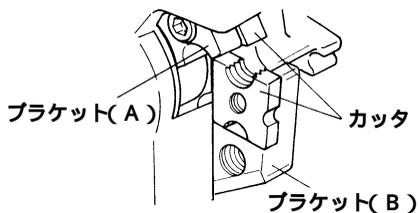
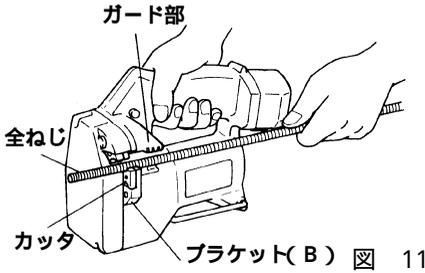


図 10

(1) スイッチ引金を引いて、ブラケット(A)を動かし、図10に示すようにカッタが開いた状態で停止させます。



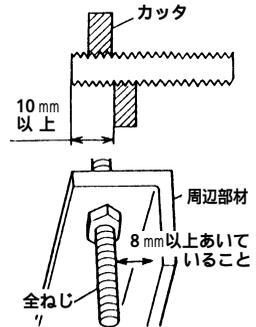
(2) 図11のように、切断する全ねじをブラケット(B)側のカッタに、ねじ山が正しくかみ合うようにセットします。

注・全ねじとカッタのねじ山が正しくかみ合っているのを確認してから切断してください。かみ合わない状態で切断すると、全ねじやカッタを損傷します。

- (3) スイッチ引金を引いて全ねじを切断します。
 (4) 切断後、ブラケット(A)が上方に上がりきったときスイッチを切りますと、カッタが開いた状態で停止し、次の作業がしやすくなります。

注・全ねじを10mm以下の長さに切断すると、全ねじとカッタのかみ合い長さが短くなり、カッタの損傷につながります。10mm以上の長さで切断してください。

- ・狭い箇所に固定された全ねじを切断するときは、全ねじと周辺部材との間が8mm以上離れていることを確認してください。8mm以下ですと、カッタが周辺部材に当たり、カッタや本体を損傷します。



2. W3/8 軟鋼以外の全ねじを切るとき.....

ステンレス全ねじ(W3/8)およびM6・M8・M10・W5/16の軟鋼全ねじを切るとき、切欠き溝のないカッタ側の切り口はバリが小さくなります。(図12)しかし、バリでナットが入らない場合がありますので、プライヤ等で全ねじを固定し、切り口のバリをトリマー(別売部品)・ニッパ・ヤスリなどで取ってください。(図13)

また、市販のアジャスタブルねじ切りダイスなどを使ってバリを取ることも可能です。

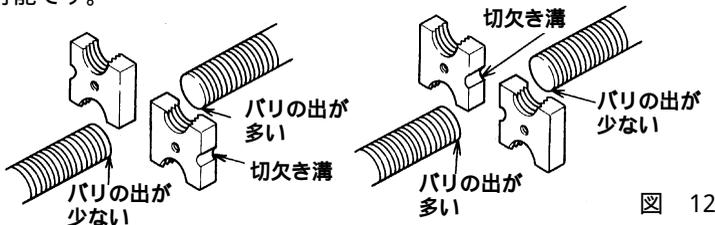


図 12

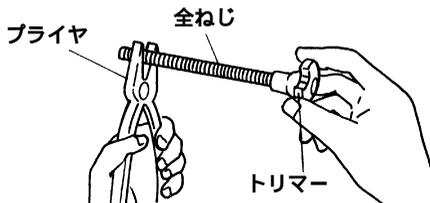


図 13

3. 切断回数(1 充電当たり)

1 充電当たりの切断回数は、下表を参考にしてください。

全ねじ	蓄電池	EB 1230H	EB 12B、EB 12M	EB 12S
W 3/8 軟鋼全ねじ		約 620 回	約 410 回	約 250 回
W 3/8 ステンレス全ねじ		約 370 回	約 250 回	約 150 回
W 5/16 軟鋼全ねじ		約 760 回	約 510 回	約 300 回
M 10 軟鋼全ねじ		約 550 回	約 370 回	約 220 回
M 8 軟鋼全ねじ		約 850 回	約 570 回	約 340 回
M 6 軟鋼全ねじ		約 1270 回	約 850 回	約 510 回

なお切断回数は、周囲温度、蓄電池特性、カッタの状態などにより多少異なります。

4. 定寸長さの切断方法

同じ長さの全ねじを数多く切断する場合には、次のようにご使用になりますと、能率よく切断できます。

- (1) あらかじめ、必要な長さより 20 mm 以上長く W 3/8 の全ねじを 1 本切断し、これを定寸ガイドとして使用します。
- (2) 定寸ガイドの全ねじを本体のブラケット(B)に設けられた全ねじ取付け穴にねじ込みます。(図 14)
この際、定寸ガイドの全ねじの端部とカッタとの距離が必要な長さ L になるように調整してください。
- (3) 切断しようとする全ねじを、定寸ガイドの全ねじと端をそろえてカッタにセットし、切断します。

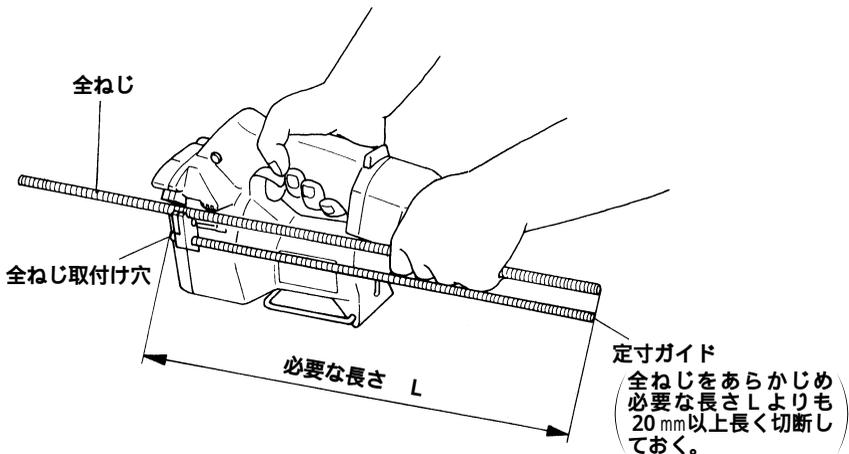


図 14

5 . 固定された全ねじの切断方法.....

天井から吊下げられた全ねじや、壁や床に固定された全ねじを切断する場合、全ねじをカッタにセットする際に、全ねじとカッタのねじ山のかみ合わせが不安定になります(図15)。

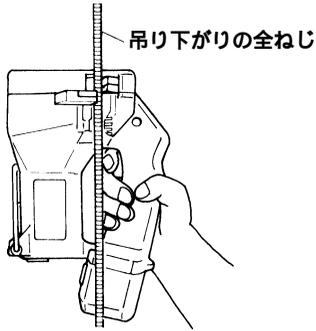


図 15

このような場合には、次のように使用してください。

- (1) ブラケット(B)側のカッタに、全ねじのねじ山を正しくかみ合うようにセットします。
- (2) スイッチ引金を小刻みにON - OFFしながらカッタを少しずつ閉じていき、全ねじのねじ山と上下両方のカッタのねじ山を完全にかみ合わせます。
- (3) スイッチ引金を引いて全ねじを切断します。

6 . 切断途中で全ねじのはずし方.....

⚠ 警告

- ・吊下りの全ねじをはずすときは万一の落下防止のため、本体は両手で保持してください。

切断途中で蓄電池が消耗し、モーターの回転が停止したときは、正逆切替えボタンを**開放**側へ押し込みながらスイッチ引金を引くと、モーターが逆回転し、全ねじをカッタからはずすことができます。(図16)

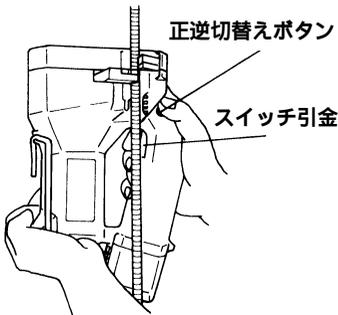


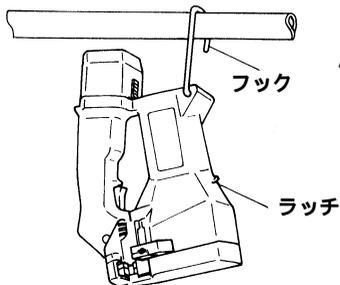
図 16

- 注** ・カッタが全ねじからはずれたら、すぐにスイッチを切ってください。スイッチを入れたままにすると、再びカッタが全ねじに食いついてしまいます。

7. フックの使い方.....

⚠ 注意

- このフックは人体への吊下げ用ではありません。
ベルトやズボンなど人体への吊下げはけがの原因となりますので、絶対にしないでください。
- フックを使用するとき、本体がすべり落ちたり、風などで不安定にならないことを確認してください。
- 通常使用されるとき、または保管するときには、フックは本体底部のラッチに収納しておいてください。



作業中に本体を一時的に置くと、フックを利用されると便利です。(図17)

図 17

カッタの寿命と交換方法

1. カッタの寿命.....

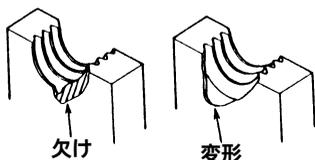


図 18

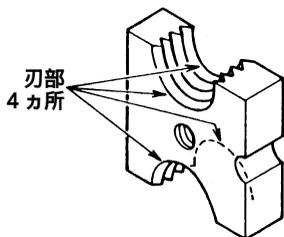


図 19

カッタは全ねじの切断の繰り返しにより図18に示すように、刃部に欠けや変形を生じてきます。そのままご使用をつづけますと、全ねじの切断部にバリが生じたり、ねじ山が変形したりしてきれいに切断できず、ナットが入らなくなります。

カッタには図19に示すように刃部が4カ所ついていますので下記に示す方法でカッタの取付け向きを替えることにより、4回使用できます。

刃部の欠けや変形によってナットが入らない場合は、欠けや変形のない刃部を使用するようカッタの取付け向きを替えるか、または新しいカッタと交換してください。

2. カッタの取付け向き替え・交換の方法.....

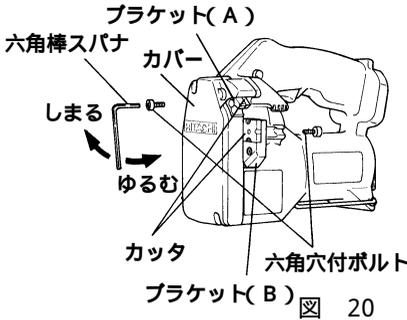


図 20

(1) 取りはずし前に.....

スイッチを引き、ブラケット(A)を動作させ、カッタが開いた状態にします。

正逆切替えボタンを **ロック** の位置にします。

蓄電池を本体からはずします。

(2) 取りはずし.....

付属の六角棒スパナで六角穴付ボルトをはずしますと、カッタが取りはずせます。

上下裏がえし 左右裏がえし 上下裏がえし

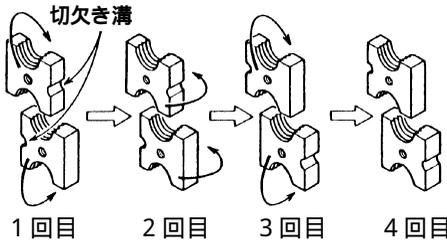


図 21

(3) 取付け前に.....

カッタには、刃部が4カ所ありますので図21のように刃部の位置を替えれば4回ご使用いただけます。

刃部の位置を替える際は、カッタ同士の位置関係がありますので、本体の正面から見て、図22のようにカッタ側面の切欠き溝がありとなしの関係にします。

カッタの刃部に欠けや変形が生じ、カッタの取付け面にふくらみがある場合は、ヤスリなどで平らにします。

ブラケットのカッタ取付け溝内に付着している切粉をブラシなどで取り除きます。

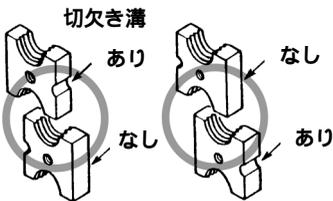


図 22

(4) 取付け.....

カッタをブラケットのカッタ取付け溝内に入れ、六角穴付ボルトで固定します。

六角穴付ボルトは、六角棒スパナで十分締付けてください。

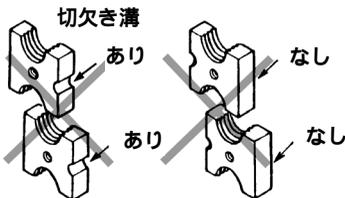


図 23

注 ・図23のようにカッタの切欠き溝のありとあり、またはなしとなしの組み合わせにしますと、全ねじのねじ山(ピッチ)とカッタのピッチが一致しないため、カッタの刃部が破損したり、本体の早期故障につながります。

保守・点検

警 告

- 点検・手入れの際は、必ずスイッチを切り、蓄電池を本体から抜いておいてください。また充電器は、さし込みプラグを電源から抜いておいてください。

1．使用後の手入れ.....

使用後は、特に刃部周辺をブラシなどで掃除してください。

2．各部取付けネジの点検.....

各部取付けネジでゆるんでいるところがないかどうか定期的に点検してください。もしゆるんでいるところがありましたら締めなおしてください。

ゆるんだままお使いになりますと、けがなど事故の原因になります。

3．表面のよごれ清掃.....

本機の外枠のよごれは乾いたやわらかい布か、または石けん水をつけた布などでふいてください。塩素系溶剤や、ガソリン、シンナー類はプラスチックを溶かす作用をしますので使わないでください。

4．作業後の保管.....

使用後は気温 50 以下でお子様の手の届かない乾燥した場所に保管してください。

ご修理のときは

この工具本体は、厳密な精度で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合は、決してご自分で修理をなさらないでお買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにご依頼ください。また、蓄電池が使用不能の状態となり、廃棄処分される場合は、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにご持参ください。

ご不明のときは、裏表紙の営業拠点にご相談ください。

その他、部品ご入用の場合や取扱い上でお困りの点がありましたら、ご遠慮なくお問い合わせください。

(外観などの一部を変更している場合があります。)

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号(No.)などを下欄にメモしておかれまして、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日 年 月 日	販売店
製造番号(No.)	電話番号

- 日立工機電動工具センターにご用命のときは、下記の営業拠点にお問い合わせください。

●全国営業拠点

営業本部	〒108-6020	東京都港区港南二丁目15番1号(品川インターシティA棟) ☎(03)5783-0626(代)
北海道支店	〒060-0003	札幌市中央区北三条西四丁目1番地1(日本生命札幌ビル) ☎(011)271-4751(代)
東北支店	〒984-0002	仙台市若林区卸町東三丁目3番36号 ☎(022)288-8676(代)
東京支店	〒110-0016	東京都台東区台東四丁目11番4号(三井住友銀行御徒町ビル) ☎(03)5812-6331(代)
中部支店	〒460-0008	名古屋市中区栄三丁目7番13号(コスモ栄ビル) ☎(052)262-3811(代)
北陸支店	〒920-0058	金沢市示野中町一丁目163番 ☎(076)263-4311(代)
関西支店	〒530-0001	大阪市北区梅田二丁目6番20号(スノークリスタル) ☎(06)4796-8451(代)
中国支店	〒730-0011	広島市中区基町11番13号(第一生命ビル) ☎(082)228-0537(代)
四国支店	〒761-0113	高松市屋島西町字百石1981 ☎(087)841-6191(代)
九州支店	〒813-0062	福岡市東区松島四丁目8番5号 ☎(092)621-5772(代)

- 電動工具ご相談窓口 — お買物相談などお気軽にお電話ください。

お客様相談センター 0120-20 8822 (無料)

携帯電話からはご利用になれません。(土・日・祝日を除く 午前9:00 ~ 午後5:00)

電動工具ホームページ — <http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/>

